

幸消防団だより

第68号

令和5年7月発行
川崎市幸消防団
団長 高橋 克明
広報委員会編集

団長挨拶

幸消防団 団長 高橋 克明



令和5年5月14日、第49回幸消防団ポンプ操法大会を開催しましたところ、ご来賓の皆様をはじめ、地域の皆様など多数の方々のご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響により休会しておりました本大会を4年ぶりに再開出来たことを大変うれしく思います。

競技におきましては第1分団が約30年ぶりに優勝を果たす結果となりました。今後も全分団は、次の優勝を目指し、訓練に励んでいきますので、ご声援を宜しくお願い申し上げます。

本大会では、消防団員が火災防ぎょ活動をするにあたり、規律ある行動、的確な命令・伝達、正確な小型ポンプ操作技術、火点への正確な放水などを競い、災害現場における対応能力の向上、さらに、士気の高揚を図ることを目的としております。出場団員は、日ごろの訓練成果をいかに発揮し、ご臨席の皆様方に安全、確実、迅速な操法をご覧いただけたものと思っております。

また、本大会の優勝分団には、幸防火協会会長賞、幸消防研究会会長賞、東芝賞、J Aセレサ川崎賞、幸消防関係団体OB会会長賞が授与され、大会を盛り上げていただきました。

さらに本大会の開催にあたり、訓練場所などについて特段のご配慮を賜りました、株式会社 東芝小向事業所様、三井不動産レジデンシャル株式会社様に、心からお礼を申し上げ、関係する近隣の皆様には、この場をお借りして、改めて御礼を申し上げます。

結びに、皆様及びご家族のご健勝とご多幸をご祈念いたしまして、挨拶といたします。

署長挨拶

幸消防署 署長 飯田 康行



第1分団の皆さん「優勝」おめでとうございます。

第49回幸消防団ポンプ操法大会が4年ぶりに開催され、多数の御来賓や地域の皆様、また道路公園センターにも参画いただき盛大に開催できましたこと、心からお祝いを申し上げます。

消防団員の皆様は、選手及び指導員の方々を中心とし、御多忙のなか時間を捻出され、消防活動の基礎となるこの訓練に鋭意励まれてこられたことと存じます。その成果は、選手皆様の真剣な眼差しや節度ある行動となって終始表れ、御臨席いただきました市民の皆様方にはまさに有事の際の頼もしい存在として明確に伝わったことと思います。

本年は、関東大震災から100年の節目となります。昨今では、大規模な地震や局地的な豪雨が度重なり発生しており、頻発・激甚化する自然災害への備えを市全体として総合的に整えていくことが大変重要となっており、幸消防署としましても、様々な災害を想定し、関係機関との訓練や情報共有を進めているほか、地域防災の中核的存在である幸消防団員の皆様と更なる連携を図って参りたいと考えておりますので、引き続き、より一層のご協力をお願い申し上げます。

結びとなりますが、大会開催にあたり、御協力くださいました町内会、自治会、そして消防関係団体の皆様と消防団員の活動を支えておられます御家族の皆様にご心から敬意を表しますとともに、益々の幸消防団の発展と地域の皆様の安全を願い、挨拶とさせていただきます。

第49回 幸消防団ポンプ操法大会

令和5年5月14日（日）河原町グラウンドにおいて、第49回幸消防団ポンプ操法大会を開催しました

大会結果

優勝 第1分団 敢闘賞 第2分団・第4分団・第3分団
個人賞 指揮者 塩田班長（第3分団） 一番員 内山団員（第2分団）
二番員 小菅部長（第1分団） 三番員 小原副分団長（第4分団）



祝 第1分団 30年ぶりの優勝

コロナ禍で4年ぶり開催となりました操法大会ですが、30年ぶりの優勝ということで大変うれしく思います。毎回大会に出る際に、地元町内会の皆様に応援されてはいましたが、なかなか優勝の報告をすることができず悔しい思いをしておりました。今回の優勝がフロックと言われないう、来年に向けての準備をしようと団員一同、心を一つにできたことも大変喜ばしかったです。今後の第1分団にぜひ注目していただきたいと思います。

第1分団分団長 生方 清



個人賞を受賞した団員のコメント

指揮者の部 塩田班長 (第3分団)

満身に練習もできず準備不足は否めない数年ぶりの大会でしたが、初参加者2人を加えたメンバーで無事終えることができた上に、思いもかけずに個人賞をいただくことができたのは嬉しい半面申し訳なさもあります。関係者各位のサポートに感謝するとともに、後進の成長に期待したいと思います。ありがとうございました。



1番員の部 内山団員 (第2分団)

今回1番員として個人賞をいただけたことにに対し大変嬉しく思います。

個人賞ですが、もちろん自分1人の力で取れたものではなく、指導してくれた方や訓練を手伝ってくれた他の団員の方々、そして一緒に選手として出場した方々に感謝しております。

次にまた出場できる機会があれば優勝を目指して頑張りたいです。



2番員の部 小菅部長 (第1分団)

4年ぶりの大会開催で、選手の平均年齢が順位の審査基準になるなど、高齢化を感じました。

私たちは消防団ですと言える使命感と自分の地域は自分で守る郷土愛の精神で、本気で訓練に取り組みました。競技に勝つ喜び、負ける事のくやしさを、そして相手への思いやりの気持ちを数十年ぶりに体感でき、とても感謝しています。

大会の開催、運営や応援して下さった多くの皆さま、そして第1分団全員のパワーを貰う事で個人賞を頂きました。本当にありがとうございます。



3番員の部 小原副分団長 (第4分団)

今回の大会から操法選手の技術向上を目的として実施要領に基づいた行動・節度を重視する競技となったことは大きな転換点と感じているとともに、私自身としては行動・動作・規律を再確認するよい機会となりました。

今回の大会に向けた訓練にご協力いただいた団員および団員のご家族の皆様に感謝申し上げます。



操法大会で水防訓練を披露しました

道路公園センターのご協力により、初めての試みとして水防工法の実演を披露しました。

雨が多くなる時期を前に、水防への備えをPRするとともに消防職・団員、道路公園センター職員が連携した幸区の消防・防災力への取り組みをPRすることができました。

訓練をご覧になった地域の皆様から「初めて見た」「大変参考になった」という感想を多数いただきました。



受章おめでとうございます！

【消防庁長官表彰】令和5年3月10日付

●永年勤続功労章

第3分団 分団長 成川 秀幸

【日本消防協会会長表彰】令和3年3月3日付

●精績章

本 団 副団長 蒲田 賢

●勤続章

第3分団 団員 新井 弘明



【神奈川県消防協会会長表彰】令和5年3月24日付

●功績章

第1分団 分団長 生方 清

第2分団 副分団長 沼澤 貴能

●勤続章(20年)

第2分団 部長 安達 靖彦

第2分団 部長 大貫 稔也

第2分団 班長 桑畑 典子

【神奈川県知事表彰】令和5年3月24日付

●永年勤続優良消防団員(30年)

第3分団 団員 新井 弘明

令和5年春の叙勲

瑞宝単光章受章

元第2分団分団長 大塚 修 様



退団された方々

○令和5年3月31日付

元第4分団 部長 前田 清晴様

元第4分団 団員 大橋 剛志様

元第2分団 団員 大貫 英稔様

○令和5年5月31日付

元第2分団 班長 那須 尚之様

元第4分団 団員 影山 富範様

永い間
お疲れさま
でした



幸消防署へ着任した職員

令和5年4月1日付

警防統括担当課長 浅里 朋己

警防第1課 警防課長 大場 誠一

警防係長 笹沢 和善

調査係長 樋上 貴亮

担当係長 幸田 真

南河原出張所長 佐藤 宏樹

平間出張所長 石川 智也

警防第2課 警防課長 大竹 聡

警防係長 松尾 求

平間出張所長 加藤 浩之

加瀬出張所長 福澤 徹

予 防 課 予防係長 菅原 隆志

消防団・防災支援係長 後藤 義文

消防団員募集

幸消防団では新規団員を募集しています。

資格 幸区内在住、在勤の満18歳以上の健康な人

・特別職の公務員として活動中の負傷などは
公務災害として補償されます。

・班長以上の階級に3年以上在職した団員は
防火管理者の資格を得ることができます。

問合せ先 幸消防署予防課消防団・防災支援係

TEL: 044-511-0119 FAX: 044-544-0119

編集後記

幸消防団だより68号をお届けします。

発行に当たり、関係各位の御寄稿に深く感謝致します。

発行責任者 高 橋 克 明 編 集 幸消防団広報委員会

広報部長 西 田 治

第1分団 木 村 雅 子 第2分団 堀 内 朋 春

菅 徹 之 鈴 木 盛 樹

第3分団 遠 藤 多恵子 第4分団 菅 原 文 夫

三 原 幸 子 青 木 真 弓